

## 山梨県立リニア見学センターの指定管理者の候補者について

山梨県立リニア見学センターの指定管理者の候補者については、山梨県立リニア見学センター指定管理者選定委員会における審査結果を踏まえ、下記のとおり選定しました。

なお、指定管理者の指定については、本年12月県議会の議決を経た後に行います。

1 公の施設の名称	山梨県立リニア見学センター
2 指定の期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
3 応募団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ㈱フジヤマ・クオリティ</li> <li>・ JTB・NTT-F リニア地域交流活性化共同事業体</li> <li>・ アクティオ㈱</li> <li>・ ㈱丹青社</li> </ul>
4 指定管理者の候補者	<p>名称：㈱丹青社</p> <p>住所：東京都台東区上野5丁目2番2号</p>
5 候補者の選定理由	<p>(1) 選定理由・講評等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 候補者の提案は、展示の運営方法について、専門的な知識と経験を有しているため、質の高いサービスの提供が期待できるとともに、展示物の適切な維持管理やコスト削減が見込める点を評価した。 提案価格は、応募者中の最低価格であり、収入見込額を超えた利用料金収入の還元率が100%であることについても評価した。</li> <li>○ アクティオ㈱の提案は、利用者の増加やサービスの向上を図るための多彩なイベントの実施が期待できる点や送迎バスの運行、解説用タブレットの貸出など利用者へのサービスが充実している点は非常に高く評価できるが、展示物の運用の面で候補者に及ばなかった。 なお、提案価格においても候補者に及ばなかったため、次点となった。</li> <li>○ ㈱フジヤマ・クオリティの提案は、富士急グループとの連携による広報の実施やバス運行が期待できる点については評価できるが、利用者の増加につながる具体的な提案が少なく、教育的な視点からの提案もないことから、候補者及び次点者に及ばなかった。 また、正規職員が1名のみでの配置であり、危機管理の面で不安があった。</li> <li>○ JTB・NTT-F リニア地域交流活性化共同事業体の提案は、富士山や富士五湖など富士東部地域の観光との連携効果が見込める点や、グループの多様な広報力を活用できる点は評価できるが、人員配置が過大であることなどにより、提案価格が高額であることから、候補者及び次点者に及ばな</li> </ul>

	<p>かった。</p> <p>また、利用者の増加につながる提案についても、具体性に欠ける点が見られた。</p> <p>(2) 選定基準及び採点結果は別紙のとおり</p>
<p>6 指定管理者選定委員会 会の概要</p>	<p>(1) 委員会の構成</p> <p>委員長：山梨学院大学法学部政治行政学科教授 外川 伸一</p> <p>委員：総合研究大学院大学学融合推進センター助教 奥本 素子</p> <p>委員：国立科学博物館参事・放送大学客員教授 亀井 修</p> <p>委員：田中公認会計士・税理士事務所代表 田中 佑幸</p> <p>委員：公益財団法人山梨総合研究所副理事長 早川 源</p> <p>(2) 審査日時</p> <p>第1回：平成25年5月20日 概要：募集要項、審査の手順及び方法、審査基準等の決定</p> <p>第2回：平成25年10月23日 概要：応募団体ヒアリング、提案内容審査</p> <p>第3回：平成25年10月30日 概要：指定管理候補者の選定</p>

○採点結果

選定基準	審査項目	配点	(候補者) (株)丹青社	アクティオ(株)	(株)フジヤマ・クオリティ	JTB・NTT-F リニア地域 交流活性化 共同事業体
リニア見学センターの管理運営の方針等の総合的な事項	ア 管理運営の基本的な考え方	3	2.0	2.4	1.7	2.1
	イ 地元経済への影響に関する事項	5	3.3	3.0	4.0	3.0
	ウ 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	5	3.0	3.8	3.0	2.8
	小計	13	8.3	9.2	8.7	7.9
リニア見学センターの管理運営に係る経費	ア 提案価格	25	25.0	20.0	19.2	10.3
	イ 利用料金の還元割合	5	5.0	3.0	0.0	3.5
	小計	30	30.0	23.0	19.2	13.8
事業計画の内容が、リニア見学センターの効用を発揮することができるものであること	ア 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	28	18.2	21.0	14.0	15.4
	イ サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	10	6.5	7.0	4.5	5.5
	小計	38	24.7	28.0	18.5	20.9
事業計画の内容が、リニア見学センターの適正かつ効率的な管理を図ることができるものであること	ア 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	10	8.0	7.0	5.0	6.0
	イ 施設の維持管理の効率性	3	2.4	2.0	1.4	1.8
	小計	13	10.4	9.0	6.4	7.8
県民の平等な利用を確保することができるものであること	ア 平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	3	1.8	1.8	1.7	2.0
	小計	3	1.8	1.8	1.7	2.0
事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人的能力及び経理的基礎を有していること	ア 安定的な運営が可能となる人的能力	3	1.7	1.8	1.2	2.6
	イ 安定的な運営が可能となる経理的基盤		適	適	適	適
	小計	3	1.7	1.8	1.2	2.6
計		100	76.9	72.8	55.7	55.0

○提案価格〔5か年〕

(候補者) (株)丹青社

349,850 千円

(参考：5か年の平均 69,970 千円)

アクティオ(株)

421,229 千円

(参考：5か年の平均 84,245 千円)

(株)フジヤマ・クオリティ

435,000 千円

(参考：5か年の平均 87,000 千円)

JTB・NTT-F リニア地域交流活性化共同事業体 760,041 千円

(参考：5か年の平均 152,008 千円)

※ 選定委員会の審査結果の詳細については、山梨県情報公開条例（平成11年山梨県条例第54号）に基づき、行政文書の開示請求を行うことができます。